

あけの

めざす 「かしこく」 様々なことに興味・関心を持ち、自ら学び、考え、正しく判断し行動できる子

子ども像 「心豊かに」 自分を大切にするとともに、友だちなど自分以外の人も大切に思い、つながりあって行動する子

「たくましく」 健康や体力の向上維持に努め、めあてに向かって粘り強くやりぬく子

めざす学校像 子どもが喜んで通う学校、子どもがつながりあって活動する学校、子どもに確かな学力が身につく学校

ホームページ <http://www.ise-mie.ed.jp/~akeno-e/>

編集・発行 校長 中村幸博

授業参観、ありがとうございました！その2

前号の続きです。3年生から6年生までの授業参観のようすを紹介します。

3年生・・・

3年生はそれぞれのクラスで、道徳・人権を考える授業がなされました。

A組は『3Aの思いやり』と題し



各自が今までにしてきた言動、これから目指す言動を考えて発言しあう学びでした(写真左)。B・C組は「わたし=みちこさん」は周りの人たちからどう見られているのか？という学習から始まり、いろいろな見方考え方があること、みんなちがっていいんだ、ということ改めて学んでいました。D組は「こんなとき、あなたならどう言いますか？」というテーマで、自分も必要なのに「縄跳び貸して」といわれた場面での意見交換、学びでした。子どもたちはよく考えて発言をしていましたね(写真右上)。



2月3日に授業参観をしました。4限目の道徳を見てもらいました。はずかしかったけど、手を何回も挙げました。あててもらったとき、すごく緊張したけど、はっきり言いました。言い終わった後、「ふうー」と思いました。お母さんの顔を見たら、「にこっ」としてくれました。思いやりという勉強をしました。みんなに思いやりを持っていきたいなと思います。泣いている子がいたら話しかけたり、いいことがあって喜んでいたらいっしょに喜びたいです。(3A 女子)

4年生・・・

4年生は全クラス「二分の一成人式」。2～3週間前から、将来の夢や進みたい道、これまでの自分への振り返り、そして、お父さんやお母さん・家族への思いを綴ってきました。

その作文をクラスの前で、保護者のみなさんの前で「宣言」します。緊張するでしょうが、とてもいい経験です。そして、自分の夢・目標をよりはっきりとさせる、周りの人たちの支えがあったからこそ10歳(二十歳の二分の一)になったんだと感ずることができ、そんな一時間になったことでしょうね。
(下の写真は、それぞれのクラスの発表風景です、左からA・B・C組)





3階廊下を彩る、白黒ですが3年生の版画作品

5年生・・・

5年生は各クラス別に道徳の学びでの授業参観です。

A組は「自分を見つめなおそう」という学びで、リフレーミングという手法を使って行われていました。短所と考えているところを見方考え方を変えれば良いところも見ることができる、というものです。例えば、「負けず嫌い→考え方が前向き、向上心がある、根性がある など」です。子どもたちは授業を終え、考え方がよりポジティブになったようでした(自分についての作文をするA組・右)。



(A組の感想から)

- ・自分の性格や生き方が分かった。短所でもいいことはあるんだなと思った(男子)。
- ・自分を見つめると、短所と長所があっっておもしろい。人それぞれ、みんな違っていろいろなことを知れた。短所→長所と思うことによって自信が持てた(女子)。
- ・短所もポジティブに考えれば長所にできることが分かった。自分を振り返ってみて、短所が意外と多かった(女子)。

6年生・・・

6年生は卒業を控え、この12年間の感謝の思いを伝える、クラスの一人一人の思いを知る学びです。4年生の「二分の一人成人式」とこの6年生の学びはこの数年続けられてきている授業です。

思春期の入り口にさしかかっている子どもたちは、ふだん直接言えないこと、感謝の言葉も文にして発表すると、とても自然な表情で発表してくれます。また、感極まって涙する子どもたちがいる、感動的なひとときにもなります。私もこの時間を共有したかったのですが、残念ながら出張でした・・・下の子どもたちの感想の一部を読んでも、「すてきな一時間」だったのですね。

(下の写真は、左から順にA・B・C組の発表の様子です)



- ・ふだんは、恥ずかしくて言えないことを言えてうれしかったし、すごく良い機会になったと思います。そして、私自身で思っていることを声に出して親に伝えたことがなかったので、すごく緊張しました。でも、手紙の入った封筒を渡したとき、泣いていたのでうれしかったです。
- ・普段、言えないような気持ちを伝えられて、とてもいい機会になった。みんなとてもすてきなことを書いていて、とても涙がでてきた。感謝の気持ちで大事なと感じた。
- ・どの子も愛情を注いでもらって育てられているんだなあと思った。いつもは言えないことを手紙で、この場で言えて良かった。
- ・お母さんはこなかったけど、しっかりと感謝の気持ちを伝えられたと思います。みんなの親への気持ちが伝わってきました。